

第四章 調停 艱 末

一 職工ノ生活難ト會社ノ切迫策

爭議漸ク持久戰ニ入ルヤ罷業團ハ行商隊ヲ組  
 織シテ職工自治ノ途ヲ講シタルモ成績豫期ノ如  
 クナラス加フルニ連動費ノ出損相次時漸次生活難  
 ノ爲ノ困憊疲弊其極ニ達シタル折衝六月三十日友  
 愛會會長鈴木文治等入神シ三日以内ニ解決セシム  
 メント揚言シタル爲ノ職工等ハ私ニ今氏等ノ斡旋  
 ニ期待シ解決ノ一日ヲ速クナラントテ熱望セシツハアリ  
 此ノ事態ハ紛糾ニ紛糾ヲ重ネ殆ト底止スル所ヲ  
 知ラス加フルニ會社ハ爭議勃發以來「爭議ハ結  
 果トシテハ何物ヲ與ヘス與フベキモノハ一切爭議終  
 了ニ於テス」キコトヲ宣言シテ勸カズ一面霖當局ハ  
 一 無條件委任ニ非レハ進ニテ調停ヲナサス  
 二 會社及ヒ職工以外ノ何人ノ介在ヲモ認メス  
 トノ方針ヲ嚴守レツ、アリタルモノ、如ク從テ鈴木  
 等ハ策ノ施スヘキモノナク進退全ク安窮スルニ至リ